

## 平成 22 年度総合技術研究会（熊本大学）参加報告

機能材料系 西川 敏治, 機械系 一柳 雅則  
機械・環境建設系技術班 大福 学, 十河 基介, 川口 隆  
電気電子・情報系技術班 横田 篤  
実習工場技術班 政岡 孝, 石丸 恭平  
自然科学系技術班 奥村 秀彦, 鎌田 浩子

主催：国立大学法人熊本大学  
研修期間：平成 23 年 3 月 17 日（木）～3 月 18 日（金）  
研修会場：熊本大学 黒髪キャンパス

### 1. はじめに

今回参加した研究会は全国の国公立大学、高等専門学校、大学利用機関に所属する技術職員が、日常携わっている技術的な教育研究支援活動で得られた業務成果を中心に、取組んでいる業務の創意工夫、成功例や失敗例など広範囲にわたる事項について発表と討論を行う全国規模の総合技術研究会である。工学部等技術部から口頭発表 3 件を含んで 10 名が参加した。本報告は技術研究会開催の様相および口頭発表について報告する。

### 2. 報告事項

総合技術研究会(熊本大学)は 2 日間で口頭発表が 269 件、ポスター発表が 252 件行われ、聴講参加を含めると参加者総数が 870 名であった。前回の総合技術研究会(京都大学)は参加者総数が 864 名であり、東日本大震災の影響で参加をとりやめた方々が多くあったことを考慮すると、回を重ねる毎に参加者が増加する傾向であり、全国の技術職員の技術研究会への関心が高まっていることが知れる。

技術研究会は順調に運営され盛況のうちに終了した。大震災というアクシデントが開催直前に発生したにもかかわらずそつが無く終えられたのは、周到な準備がなされていたためと伺える。

3 件の口頭発表が行われた。その要約を以下に示す。

大福 学「SDP 風資料を用いた内湾・内海における 45 年間の海上風分布データセットの作成」

要約：SDP 風資料から相関解析を通じて内湾・内海の沿岸部と海上部の風観測点における風特性を推定したのち、2 段階の空間補間の方法に従って 45 年間の各海域における海上風分布のデータセットを作成し、その特性を調べる。

十河 基介「グループ研修「ホットジェット溶接技術の習得」について」

要約：H22 年度スキルアップ経費においてホットジェット溶接に関する申請が採択された。これにもなって実施する「ホットジェット溶接技術の習得」を目的としたグループ研修について報告する。

川口 隆「フライアッシュコンクリートの早期強度推定について」

要約：フライアッシュは混和材としてコンクリートの長期強度増進、密実性などの耐久性向上に寄与している。しかし、その普及状況は初期強度不足および早期材齢の強度推定方法が確立されていないことから利用が進んでいない。本発表ではマチュリティーに基づく等価材齢とゴーラル曲線を用いた強度成長曲線を組み合わせた早期強度推定式の適用性を検討した結果を報告する。

### 3. おわりに

全国規模の技術研究会に参加したことで、他機関の技術職員との人的交流が豊かになり、情報交換によって専門技術の知見を得ることができた。このことを業務内容の質的向上に反映できるように努めたい。

今回の研修には工学部等技術部から例年以上に多人数が参加することができた。おかげで、平成 24 年度に開催を予定している「愛媛大学総合技術研究会」の運営方針や会場設営など参考になる多くの情報を得ることができた。今回の術研究会参加は、今後の技術部活動を活発化させる有意義な研修であった。

**謝辞：** 今回の研修参加にあたって格別のご配慮をいただいた村上技術部長、一色事務課長ほか関係各位にこの場を借りて御礼申し上げます。